



旭川市立緑が丘小学校 学校通信

緑小だより

令和7年3月25日(火)発行

学校教育目標

考える子ども
豊かな子ども
強い子ども

明るい道しるべ

旭川市立緑が丘小学校長 内藤 奏子



51年目の新たな時代を引き継いだ令和6年度の6年生は、この一年間、後輩たちへたくさんの愛情を注ぎ、緑が丘小学校の未来に明るい道しるべを残してくれました。卒業生を在校生が校舎からお見送りする時の別れを惜しむ様子は、私がこれまで見たことがないくらい切ない様子でした。1年生が「卒業しないで」「行かないで」と号泣して6年生にしがみついた姿に、これほど先輩は後輩にお世話をしていたのだ、6年生はこの1年間でずいぶん成長した、そのおかげで緑小っ子たちの情操が豊かに成長したのだな、とお見送りの様子を感じ深く見ていました。

卒業式の式辞では、卒業生へ「よい人生」を送るためには人や物事と関わり合いの蓄積が重要である、ということについてお話をしました。

教育学者のヘンティッヒは関わり合いの方法を大きく5つ挙げています。

1つ目は「他の人との関わり合い」、

2つ目は観察したり、実験したりなどする「物事との関わり合い」、

3つ目は遊んだり、造りあげたりなどする「物事との関わり合い」、

4つ目は自分の思いや身体の成長などを知る「自分自身との関わり合い」、

5つ目は音楽や絵画、踊りなど考え出された「世界との関わり合い」です。

まさしく今年の卒業生はこれら5つの「関わり合い」が十分蓄積されていたから、感動的な在校生のお見送りを受けたのだ、と確信しました。

式辞ではこれらの「関わり合い」に教育哲学者のボルノーが記した言葉の「未来に希望を」の一節を加えました。「関わり合い」から得た知識や手段で他者とともに問題を考え乗り越え「よい人生」を送ることができるということを、つまり「未来に希望を」持ち続け、問題や困難を乗り越え「よい人生」を送ることを祈願する、という言葉で締めくくりました。

卒業生が残してくれた明るい道しるべをよりどころとして、後輩たちは未来に進むことができます。緑が丘小学校で過ごした子どもたち全員が、自分の人生をよりよく歩むことができるよう、心より祈願しています。

第51回卒業証書授与式

令和7年度 4月の学校行事



3月18日に38名の卒業生が緑が丘小を巣立ちました。

この1年間、最高学年として、学校行事をはじめ様々な場面で緑小っ子の先頭に立ち支えてきてくれました。当日はたくさんの保護者が見守る中、卒業証書を受け取る際には、感謝の気持ちやこれから自分が頑張りたいこと等を立派に述べていました。卒業生のこれからの活躍を願っています!!



卒業式当日を迎える前日までには、在校生全員で卒業生が証書をもらう立派な姿を見たり、卒業生一人一人から、在校生に向けてのメッセージの言葉をももらったりしました。そして最後に卒業生を見送り、温かな雰囲気でお別れをしました。



6年生を送る会

3月7日に、「6年生を送る会」を行いました。各学年から、クイズや思い出のダンス、似顔絵のプレゼントなどこれまでお世話になった6年生へ感謝の気持ちを表す発表がありました。

6年生からは、パネルクイズや在校生へのプレゼントとして自分たちで考えた準備体操「MGS(緑が丘小学校)体操」の発表があり、在校生と一緒に体を動かし楽しい時間を過ごしました。



第51回 同窓会入会式

3月14日に、「緑が丘小学校同窓会」の入会式が行われました。片岡同窓会長から、歓迎のお言葉と同窓のつながりについてお話をいただきました。



ご協力ありがとうございました 緑が丘小からの声

先月号でお知らせいたしました「活動へのご感想」をいただきありがとうございました。次年度活動もよろしくお願ひいたします。

交通安全

登下校時の見守りが出来たことはいい経験になりました。

愛のパトロール

時間的にも内容的にもあまり負担がなく、警察の方や先生とお話しながら楽しく活動できました。

環境整備

私も参加させていただいた花壇整備やガラス拭きなどは、お子さんと一緒に楽しみながらできそうな内容でした。

春休み中や土曜や日曜など休日、事故などの緊急時は下記のメールアドレスへご連絡願ひます。

※管理職にのみ連絡されます。メールへの記載内容は下記を参照願ひます。

※折り返し学校からの連絡が必要な場合のみ携帯番号を記載してください。

【〇年〇組の〇〇 〇〇(氏名)の保護者〇〇です。
〇〇(事故・感染症、その状況など)がありました。】